

メンタルヘルスサポートチーム「なのはな」

1. 構成メンバー

多和昭雄副院長、宮本典子副看護部長、廣常秀人精神科長、疇地道代精神科医、出口孝志管理課長、松本政浩職員研修部係長、安尾利彦心理療法士

2. 概要

メンタルヘルスサポートチーム「なのはな」は、当院の職員のメンタルヘルス、中でも主に1次予防（メンタルヘルスに関する情報提供・教育研修・環境改善）と2次予防（メンタルヘルス不調の早期把握・早期対策）に関する企画、立案、評価、対策を行う組織横断的なチームである。2011年4月からの院内での立ち上げの準備期間を経て、2012年1月から本格的な活動を開始した。

チームの愛称である「なのはな」は、菜の花の花言葉「豊かな日々」「快活」に由来しており、「職員一人ひとりが心豊かに、生き活きと働くための職場づくりをサポートしたい」という願いが込められている。

「なのはな」がこれまでに取り組んできた主な活動は大きく分けて、1) 職員からの個別相談、2) チームの広報と情報提供、3) 教育研修、4) 危機介入、5) 健康診断時のセルフチェックの実施、6) 各部署訪問による労働環境改善の働きかけ、以上6つである。

- 1) 職員からの個別相談：相談窓口を設け、プライバシーへの配慮のもと本人およびその上司や同僚からの相談について、精神科医1名と臨床心理士1名が対応している（精神科診療や心理療法の提供はせず、コンサルテーションのみとしている）。
- 2) チームの広報と情報提供：ネームプレートに入れることができる、相談窓口を記載したカードを作成した。また院内広報誌や、電子カルテ掲示板へ投稿を行っている。今年度は研修医に対して集会後の場をかりて直接情報提供を行った。
- 3) 教育研修：新入職者オリエンテーション時の講義に加え、ラインケア研修、セルフケア研修を実施している。
- 4) 危機介入：患者からの暴力被害や入院患者の自殺事案が発生した際、現場に暴露された職員の個別面談、グループミーティングを行った。また発生部署の職員全員に対して、急性ストレス障害に関する情報提供を行った。
- 5) 健康診断時のセルフチェックの実施：問診票とともに仕事の疲労度セルフチェックを配布し、任意・匿名で回収した。例年院内報で集計結果を周知しており、今年度は希望者には書面でフィードバックを行った。
- 6) 各部署訪問による労働環境改善の働きかけ：了解が得られた部署に対して、職業性ストレス簡易調査票によるアンケートを実施し、その結果をもとにその職場の職員が主体的に改善点を検討・実施し、再度同じ調査票を用いて改善度を評価し

た。

今後もこれらの活動について継続的に実施と評価を行うことが必要である。また、昨年度は国立病院総合医学会において、上記活動の一部についてまとめた研究発表を行っているが、今後も研究発表等に取り組んでいく予定である。

【2014 年度研究発表業績】

A-6

疇地道代：なのはな便り第 24 回「メンタルヘルス講演会レポート」。大阪医療センター院内報法円坂だより 105 号、pp.4-5、2014 年 6 月

安尾利彦：なのはな便り第 25 回「2014 年度健康診断時の仕事の疲労度セルフチェックのご報告」。大阪医療センター院内報法円坂だより 108 号、pp.12-13、2014 年 10 月

B-8

安尾利彦：健康管理・メンタルヘルスについて。大阪医療センター新採用職員研修、大阪、2014 年 4 月

廣常秀人：司会。大阪医療センター安全衛生委員会主催ラインケア研修「～身近な事例から知るラインケアの実際～あぁ実感～」(演者：夏目誠)、大阪、2014 年 5 月

安尾利彦：ストレスとは。大阪医療センター看護部主催セルフケア研修、大阪、2014 年 6 月

安尾利彦：セルフケアとは。大阪医療センター看護部主催セルフケア研修、大阪、2014 年 6 月

安尾利彦：グループファシリテーション。大阪医療センター看護部主催セルフケア研修、大阪、2014 年 6 月

安尾利彦：ストレスとは。大阪医療センターメンタルヘルスサポートチーム「なのはな」主催セルフケア研修、大阪、2014 年 12 月

安尾利彦：セルフケアとは。大阪医療センターメンタルヘルスサポートチーム「なのはな」主催セルフケア研修、大阪、2014 年 12 月

安尾利彦：グループファシリテーション。大阪医療センターメンタルヘルスサポートチーム「なのはな」主催セルフケア研修、大阪、2014 年 12 月

疇地道代：メンタルヘルスサポートチーム「なのはな」の案内、大阪医療センター研修
医レクチャー、大阪、2015年3月